

## 第65回塑性加工連合講演会 「テーマセッション」のご案内

第65回塑性加工連合講演会（平成26年10月11日（土）～13日（月））岡山大学において、下記の5件のテーマセッションを開催いたします。奮ってご応募下さい。ご不明の点につきましては、各セッションのオーガナイザーまでお問合せください。

テーマセッションの特徴は以下の通りです。

- (1) 一般講演とは区別してプログラムを組みます。
- (2) 特定のテーマに関する講演を広く公募します。
- (3) 公募論文の取捨選択や討論時間などの運営方法はオーガナイザーに一任します。（採択されなかった場合には一般講演に回っていただきますのでご了承ください。）

### 記

申込方法 学会のホームページを利用したオンライン申込をご利用ください。

講演申込用ホームページアドレス <http://www.jstp.or.jp>

申込締切日 平成26年6月13日（金）

#### テーマセッション1 「鍛造加工を支える技術の最新動向」

オーガナイザー：五十川幸宏（大同大）、北村憲彦（名古屋工大）、藤川真一郎（日産自動車）、  
伊藤樹一（大同特殊鋼）、吉田佳典（岐阜大）、早川邦夫（静岡大）

協力：鍛造分科会〔主査：五十川幸宏〕

問合せ先：早川邦夫（静岡大）、E-mail: tmkhaya@ipc.shizuoka.ac.jp

日本のものづくりの基幹技術の一つである鍛造加工のより一層の発展には、材料、金型、加工機械、潤滑剤、表面改質、数値解析や計測技術など、鍛造を支える技術の進歩が不可欠であり、また、その近年の進歩はめざましいものがあります。また、環境についての考慮も欠かせないものとなっています。本テーマセッションでは、鍛造を支える技術の最新の動向を幅広く講演いただき、今後の動向を探ります。

#### テーマセッション2 「最新ナノ・マイクロ成形加工とその関連技術」

オーガナイザー：楊 明（首都大）、早乙女康典（東北大）、大竹尚登（東工大）、田中繁一（静岡大）、  
白鳥智美（小松精機）、古島剛（首都大）

協力：ナノ・マイクロ分科会〔主査：楊 明〕

問合せ先：古島剛（首都大）、E-mail: furushima-tsuyoshi@tmu.ac.jp

ナノ・マイクロ成形加工は、マイクロセンサーやアクチュエータ、化学・バイオチップなどの新規産業分野における微小部品の量産化技術として期待されている。本セッションでは、ナノインプリント、マイクロ射出成形、極薄板のマイクロ成形技術などの最新動向、ならびにその金型加工技術として切削加工、各種高エネルギービーム加工、コーティング技術、さらにナノ・マイクロ材料物性の計測評価やモデル化、成形加工プロセスにおける寸法効果の解明を含む先端ナノ・マイクロ加工技術の現状と動向について総合的に討論し、新規産業へのヒントを探る。

#### テーマセッション3 「接合・複合技術の現状と将来」

オーガナイザー：山崎栄一（新潟県工技総研）、原田泰典（兵庫県立大）、安部洋平（豊橋技科大）、  
川森重弘（玉川大）

協力：接合・複合分科会〔主査：森敏彦〕

問合せ先：川森重弘（玉川大）、E-mail: kawamori@eng.tamagawa.ac.jp

ここ2,3年、日本の工業分野に対しては従来にない技術、素材の開発が求められています。特に、輸送機器の内、自動車分野では優位性をさらに持続するため、航空機分野では先行するメーカーより高機能の機体を創出するためにはCFRP、拡散接合など接合・複合は欠かせない技術です。本テーマセッションでは接合・複合全般に関する研究を発表いただき現状と将来を展望しようとするものである。

#### テーマセッション4 「基礎研究から製品開発までのチューブフォーミング技術」

オーガナイザー：栗山幸久（東大）、水村正昭（新日鐵住金）、白寄篤（宇都宮大）、吉田佳典（岐阜大）、  
内海能亜（埼玉大）

協力：チューブフォーミング分科会〔主査：栗山幸久〕

問合せ先：内海能亜（埼玉大）、E-mail: utsumi@mail.saitama-u.ac.jp

管材は軽量かつ高剛性材として認知され、自動車・航空宇宙をはじめとした輸送機器分野の機械部品・構造部材への適用が広まり、近年では、微小径材など医療分野への適用が期待され、ますます管材の応用範囲が拡大しつつある。これらと並行しチューブフォーミング技術も日進月歩で発展している。本セッションでは管材の各種成形法や成形性・材料評価、管材の加工技術に関連した要素技術など基礎研究から製品開発までの幅広い成果を募集し、チューブフォーミング技術の現状と今後の展望について探る。

## 10th INTERNATIONAL SESSION 2014

Organizer: Takashi Kuboki (The University of Electro-Communications), Hiroshi Utsunomiya (Osaka University), Ken-ichiro Mori (ToyoHashi University of Technology), Zhigang Wang (Gifu University), Ming Yang (Tokyo Metropolitan University), Kazuhiko Kitamura (Nagoya Institute of Technology), Kunio Hayakawa (Shizuoka University),

Contact: Takashi Kuboki (The University of Electro-Communications), E-mail: kuboki@mce.uec.ac.jp

The 10th International Session is organized in the Japanese 65th Joint Conference on Technology of Plasticity at Okayama. The official language in this session is English. Any presentations relating to technology of plasticity are welcome. This session may be divided into sub-sessions, e.g., bulk forming, sheet forming, etc. Talks given by overseas researchers/students in Japan as well as researchers/students visiting from all over the world, especially from KSTP and CSTP, are welcome. Japanese domestic researchers/students could give English presentations in this session. A two-page abstract in English is required as normal session presentations

Conference site:

October 11-13, 2014, Okayama University ([http://www.okayama-u.ac.jp/index\\_e.html](http://www.okayama-u.ac.jp/index_e.html))

1-1-1 Tsushima-naka, Kita-ku, Okayama-shi 700-8530 Japan

### 第10回 インターナショナルセッション2014

オーガナイザー: 久保木孝(電通大), 宇都宮裕(阪大), 森謙一郎(豊橋科技大), 王 志剛(岐阜大), 楊 明(首都大), 北村憲彦(名工大), 早川邦夫(静岡大)

問合せ先: 久保木孝(電通大), E-mail: kuboki@mce.uec.ac.jp

第65回塑性加工連合講演会に第10回インターナショナルセッションを設置します。このセッションに限り公用語は、英語ですが、塑性加工に関するものである限り、いかなる発表も受け付けます。海外から来日中の研究者・留学生および海外からの研究者や学生が発表する場として好適です。また日本人研究者や学生も英語で発表を行うことができます。他のテーマセッション・一般講演と同様の2ページの概要(ただし英文)が必要となります。

### テーマセッション6 「発展し続けるポーラス材料の製造加工と諸特性」

オーガナイザー: 鈴木進補(早大), 北薮幸一(首都大), 吉村英徳(香川大)

協力: ポーラス材料研究委員会 [主査: 金武直幸]

問合せ先: 吉村英徳(香川大), E-mail: yosimura@eng.kagawa-u.ac.jp

人工的ポーラス材料の実用化に向けて、コスト低減や性能向上、用途拡大を目的に、様々なポーラス材料が発展を続けるべく検討されており、材料そのものの製造法、サンドイッチパネルなどの構造材への2次加工法が次々と開発されている。水素化チタン以外の発泡剤、摩擦エネルギーやレーザーなどの技術導入なども進んでおり、現在提案されているこれらの新加工技術と生み出された諸特性を、本テーマとする。

#### 「優秀論文講演奨励賞」について

講演会運営委員会では、塑性加工講演会の活性化と優秀な若手会員の活躍を期待して、新進の研究者・技術者の優秀な論文講演を表彰しております。本賞審査の対象となる方は、**講演発表時に満35才以下の会員**です。35歳以下の講演者で審査を希望される方は、申込時に希望の有無および年齢を選択してください。受賞件数は、分野を偏らないように配慮して、10件程度とします。ただし、過去に本賞の受賞歴のある方は受賞後2年間は欠格期間となります。審査は、座長を含む審査委員による論文内容、発表方法、質疑応答に基づいて、総合的に評価します。優秀論文講演奨励賞の受賞者名及び講演論文名等は、学会誌「塑性と加工」にて公表するとともに、賞状と副賞を贈り顕彰します。